

Press Release

2014年9月1日

報道関係各位

バイオトロニックジャパン株式会社

全身のMRI検査が可能な条件付きMRI対応ペースメーカを日欧同時発売

バイオトロニックジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:ジェフリー・アニス)は、2014年9月1日より、特定の条件下における全身のMRI検査が可能な条件付きMRI対応ペースメーカ、「エトリンザシリーズ」を販売開始いたしました。

人口100万人あたりのMR装置普及台数が世界第一位*の我が国において、MRI検査は非常に身近で、リスクの低い検査として知られています。エトリンザシリーズは、MRI検査のニーズが高い頭部、脊椎領域はもとより、胸部や腹部など幅広くMRI検査に対応することで医療関係者の要望に応えたペースメーカです。

エトリンザシリーズの上位機種である、販売名「エトリンザ8-T ProMRI」は、ペースメーカ本体の大きさを犠牲にすることなく、ワイヤステレメトリー/プログラミング機能を搭載しています。プログラマと呼ばれるペースメーカのプログラム変更に使用する機器とワイヤレス通信が可能で、植込み手術時や外来でのペースメーカ検査の際に、プログラム変更を簡便に行うことが可能です。また、エトリンザ8-T ProMRIは、近年、我が国において急速に普及した遠隔モニタリングシステム(BIOTRONIK Home Monitoring[®])を利用する際にもワイヤレス通信が可能であり、患者様の手を煩わすことなく、ペースメーカが収集した各種情報を毎日、自動的に送信することができます。インターネット環境が整えば、医療関係者はいつでも管理しているペースメーカの最新情報を確認することができます。万が一、管理しているペースメーカ患者様に不整脈等の臨床イベントが発生した時は、一定の条件下で、患者様が外来受診することなく最新の心内心電図を医師が確認することができるため、必要な患者様に対して早期に治療介入できる可能性があります。

エトリンザシリーズは、日欧同時発売のBIOTRONIK社の新型ペースメーカです。

*OECD Health Statistics 2013



BIOTRONIK社について

BIOTRONIK社は世界を代表する心臓血管関連の医療機器製造業者の1つで、ドイツのベルリン本社をはじめとして全世界に 5,600人以上の従業員を抱え、100を超える国と地域で事業展開し、数百万個の機器の植込み実績を誇っています。1963年にドイツ初の植込み型心臓ペースメーカーを開発して以来、BIOTRONIK社は、市場にいくつものイノベーションを発表してきました。その代表的なものとして、2000年に米国で導入された世界初の心臓植込み型デバイスの遠隔モニタリングシステムであるBIOTRONIK Home Monitoring[®]や、2012年に欧州で認可された世界初の条件付きMRI対応植込み型除細動器および同両室ペーシング機能付き植込み型除細動器などがあります。

バイオトロニックジャパン株式会社について

バイオトロニックジャパン株式会社は、ドイツ・BIOTRONIK社の心疾患治療技術をいち早く日本に導入するため、2003年10月に日本バイオトロニック株式会社として設立された日本法人です。2005年9月にバイオトロニックジャパン株式会社と改名しました。ドイツ企業特有の技術力と製品開発力、医師、コメディカルおよび患者様のニーズを素早く反映するスピードを活かし、今後も日本における先端技術のイノベーションを目指して活動してまいります。

<http://www.biotronik.jp>

(本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先)

バイオトロニックジャパン株式会社

マーケティング部

CRMプロダクトグループ

シニアマネージャー

小霜 彰

Tel: 03-3473-7476

E-mail: akira.koshimo@biotronik.com